

2014.02.05

# アーツサポート関西 設立の発表

## ARTS SUPPORT KANSAI ASK

主催：公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会

場所：国立国際美術館 講堂

### リリースに関するお問い合わせ先：

公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会内 アーツサポート関西事務局 担当：大島賛都・西村もゆる  
Email: oshimas@osaka21.or.jp, TEL: 06-6942-2004, FAX: 06-6942-5945

## 2014年4月、「アートサポート関西」始動へ。 アーティストに寄り添った芸術・文化の支援を目指します。

2014年4月より芸術・文化を支援する新しい組織「アートサポート関西」(通称ASKアスク)が発足する運びとなりました。文化が都市活性化に貢献した例は、世界では枚挙にいとまがありません。私たちは「文化と経済は車の両輪である」という理念の下、都市に創造性と活気をもたらし、世界に誇る地域とするため、市民自らの手で文化を支援し、関西を元気にしていく取り組みを開始します。

そもそもは2012年2月に関西経済同友会の提言「大阪版アーツカウンシル『タニマチ文化評議会』(仮称)の創設を」(※1)に端を発し、公益財団法人 関西・大阪 21世紀協会内にその事務局を設置することになりました。ASKは、当協会のこれまでの事業とは独立し、別会計で運営します。現在、内閣府に変更認定申請をしており、認可されれば、4月よりスタートする予定です。

すでに、2013年7月には大阪府市統合本部の「大阪アーツカウンシル OAC」が発足していますが、OACが公金をベースとした行政組織である一方、ASKは現場の声に耳を傾け、お金だけではない血の通った様々な支援をスピーディーでフレキシブルに行う民間の支援組織です。

例えば、寄付者の名前を冠した基金(※2)を設け、寄付金の使い道を自ら設定できるという仕組みは、市民の芸術・文化への主体的な参加に役立ちます。使い道の“見える化”は支援先への親近感を醸成します。あわせて、支援先の事業評価を行ない、支援の成果を寄付者にフィードバックします。また支援後も、寄付者と支援先との交流の場づくりやWEBを活用した情報発信を行ない、寄付文化の醸成や鑑賞者の育成にも力を注いでまいります。

なお、公益財団法人である関西・大阪 21世紀協会が寄付金の受け皿となることにより、寄付者(個人・企業等)に対して税の優遇措置が適用されます。つきましては、このASKの活動に皆様のご理解を賜り、幅広いご支援を頂戴したく、心よりお願い申し上げます。

※1 関西経済同友会 歴史・文化振興委員会(09-12年)が大阪の文化状況を多角的に検証し、その活性化を図るために行った提言。

※2 寄付者が命名する基金を設置。特定基金、分野指定基金を設け、寄付者の意向に沿った活用を図ります。

名称：	アートサポート関西 Arts Support Kansai
略称：	ASK (アスク)
設置日：	2014年4月1日(予定)
助成額：	約1,000万円(初年度目標想定額)
原資：	民間(個人・企業等)の寄付等
助成対象：	関西で芸術・文化活動をする団体または個人 範囲は関西元気文化圏(京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県、福井県、三重県、徳島県、鳥取県)
助成分野：	美術・デザイン、音楽、演劇、ダンス、映像・映画、伝統芸能、特定のジャンルにとらわれない複合的芸術・文化活動(生活文化、スポーツも含む)
事務局：	公益財団法人 関西・大阪 21世紀協会

### リリースに関するお問い合わせ先：

公益財団法人 関西・大阪 21世紀協会内 アートサポート関西事務局 担当：大島賛都・西村もゆる

Email: oshimas@osaka21.or.jp, TEL: 06-6942-2004, FAX: 06-6942-5945

## 代表発起人

鳥井 信吾	関西経済同友会代表幹事
加藤 貞男	関西経済同友会代表幹事
佐藤 茂雄	大阪商工会議所会頭
森 詳介	関西経済連合会会長
千 玄室	裏千家第十五代・前家元
佐渡 裕	指揮者
安藤 忠雄	建築家

(敬称略、ご承諾順、肩書きは2014年2月現在)

## 運営委員 (ご就任予定)

鳥井 信吾	サントリーホールディングス株式会社 代表取締役副社長
天野 文雄	大阪大学名誉教授、文化庁関西元気文化圏推進・連携支援室長
小嶋 淳司	がんこフードサービス株式会社 会長
建畠 哲	京都市立芸術大学学長、埼玉県立近代美術館館長
寺田 千代乃	アートコーポレーション株式会社 代表取締役社長
西岡 信雄	大阪音楽大学名誉教授、前大阪音楽大学学長
山本 雅弘	株式会社毎日放送 相談役最高顧問

(敬称略、順不同、肩書きは2014年2月現在)

## 設立の経緯

関西経済同友会 歴史・文化振興委員会（委員長 鳥井信吾）は、2012年、文化振興先進国の英国を視察し、中長期的な戦略的視点を持つ英国のアーツカウンシルを参考に文化支援組織を大阪に創設すべきとの提言をまとめました（「大阪版アーツカウンシル『タニマチ文化評議会』（仮称）の創設を」）。提言は、「文化は市民のもの」「文化と経済は車の両輪」であるとの認識にもとづき、文化振興には戦略的・投資的な視点やプロデュース機能強化が必要とし、その事務局を関西・大阪 21世紀協会に置くことを提案しました。アーツサポート関西は、この提言を実現しようと準備が進められてきました。

## ねらい

関西は、豊かな歴史的資産や文化資源に恵まれています。しかし、芸術や文化活動をめぐる環境は必ずしも良好とは言えません。関西の中核をなす大阪の文化行政の状況は、大変厳しいものがあり、府市の文化予算は大幅な削減が続いています。こうした危機的な状況において、私たちは、国や自治体頼みだけではなく、民間が主導する文化支援を行うことが重要であると考えます。文化を享受する市民が主体となって文化を支え、育てていくことが、日本の未来のために目指すべき方向であるはずで

### （１）芸術・文化の現場に寄り添った支援を行います。

芸術・文化の現場の声に耳を傾け、その意向を汲んだ「血の通った」支援を行います。また、芸術・文化の「作り手」と「受け手」との交流の場や機会づくりに力を入れ、これまであまり行われてこなかった鑑賞者の育成を行います。さらに埋もれた若手アーティストやその芸術的な試みに対して、発表の舞台を設けていきます。

### （２）市民の思いが伝わる支援を行います

市民（個人・企業など）から寄付を募り、寄付者の意向を反映させた支援を行います。一方助成は、アーティストからの申請を受け付け、評価・審査委員会の審査を経て、決定されます。あわせて、支援先の事業評価を行ない、支援の成果を寄付者にフィードバックします。また支援後も、寄付者と支援先との交流の場づくりやWEBを活用した情報発信を行ないます。

### （３）活かした文化支援を行います

たとえ小額であっても、未来の鑑賞者を育む子供向けワークショップの開催費や、地域の活性化につながる「まち歩きアートマップ」の作成など、波及効果、確かな効果が生まれる事業を助成します。

### （４）WEB寄付やクラウドファンディングを行います

WEB上で手軽に寄付ができます（当面はクレジット決済のみ）。またクラウドファンディング（※1）を行い、寄付を希望するプロジェクトを公募するほか、アーツサポート関西が独自のプロジェクトを組んで戦略的な文化支援に取り組んでいきます。

※1 クラウドファンディング 寄付を希望するプロジェクトを募集してWEB上で公開し、賛同者から広く出資を募る仕組み



## 個別基金の設置について

市民（個人・企業など）からお寄せいただいた寄付をもとに、寄付者が名称と使い道の設定ができる基金を設置します（設置には下限額があります）。助成を目的とした個別基金には2タイプあり、助成分野を指定していただく「分野指定型」と、助成先を指定していただく「特定型」があります。

	<b>分野指定型</b>	<b>特定型</b>
	<p>◎ 寄付者が、下記の8つから助成分野を選びます。</p> <p>①美術・デザイン、②音楽、③演劇、④ダンス、⑤映像・映画、⑥伝統芸能、⑦複合的な文化・芸術活動（生活文化・スポーツも含む）、⑧指定なし</p>	<p>◎ 寄付者が、助成する芸術・文化の団体等を指定します。</p>
<b>一定額以上の寄付</b> (金額調整中)	<p>◎ ご自分で名称が付けられる個別基金が設置できます。</p> <p>◎ 分野指定に加え、助成先に関してご自分の希望を付与することができます。</p> <p>(例) 能狂言、オペラ、現代美術、小劇場活動、若者の活動など</p>	<p>◎ ご自分で名称が付けられる個別基金が設置できます。</p> <p>◎ 助成先をご自分で指定することができます。</p> <p>(例) ○○フィルハーモニー、○○能楽堂、○○劇団など</p>
<b>一定額未満の寄付</b> (WEB 寄付等)	<p>◎ 分野指定のみ可能（個別基金は設置できません）。</p> <p>※複数の寄付者から分野ごとに集まったお金で、対象分野の助成をします。</p>	<p>◎ 取扱いはありません。</p>

## 税の優遇措置について

アーツサポート関西への寄付に対して、下記のように、法人・個人それぞれに税の優遇措置が適用されます。（詳しくは最寄りの税務署や税理士などにお問い合わせください。）

◎ **法人の場合** 次のいずれか少ない金額が損金に算入されます。

- ・ 特定公益増進法人に対する寄付金の合計額
- ・ 特別損金算入限度額 = (資本金等の額 × 事業年度の月数/12 × 0.375% + 所得金額 × 6.25%) × 1/2

◎ **個人の場合** 次の所得控除または税額控除のいずれかが選べます。

- ・ 所得控除：寄付額(※1) - 2,000円 = 寄付金控除額
- ・ 税額控除：(寄付額(※1) - 2,000円) × 40% = 寄付金特別税額控除額 (※2)

※1 年間所得の40%まで      ※2 所得税額の25%が限度

◎ **遺産寄付（遺贈）** 全額控除

## 今後のスケジュール

- 2014年3月 内閣府より関西・大阪21世紀協会の変更認定申請の承認(予定)
- 4月1日 「アーツサポート関西」発足
- 5月 ファンドレイジングパーティ開催(予定)
- 5月 運営委員会開催(評価・審査委員の決定)
- 9月 2014年度助成金額の確定 / 助成申請受付開始
- 11月 助成申請締切 / 書類審査
- 12月 評価・審査委員会(選考会)
- 2015年1月 運営委員会開催(事業計画を審議)
- 3月 事業報告レポート発行
- 4月 助成金交付開始(予定)